

核医学検査(RI検査)に関する説明

核医学検査とは

RI検査とも呼ばれ、特定の臓器や組織に集まりやすい性質を持った放射性の医薬品を患者さんに投与します。投与された放射性医薬品が目的の臓器や組織に集まったところで、そこから放出される放射線を専用のカメラを用いて体外から検出その分布を画像化する検査です。

核医学検査による想定される被ばく線量について

使用する薬品は放射能の減衰(放射線を出さない物質に変わる事)や体からの排泄により、早いものでは数時間、遅くても数日でなくなります。放射線を受けたときの人体への影響をあらわす単位をシーベルト(Sv)と言います。放射性医薬品による被ばくは1回の検査でおよそ0.2~8ミリシーベルト(mSv)です。検査の種類によってCT検査も行いますが、CTは補正のために使用するもので、合計の被ばく線量はおおよそ10~18mSvです。いずれの場合においても放射線による急性健康障害が生じる心配はありません。

大量に放射線を被ばくすると癌の発生率が高くなりますが、画像診断レベルの放射線による発がんの日常生活での他の癌リスク(食物、喫煙など)に比べて確認できないほどに小さいとされています。

放射性医薬品の有効期限は極めて短いため、検査予定日に病院に薬剤が届き、その日のうちに使用する必要があります。体調不良などにより検査中止をしたい場合は速やかに主治医もしくは放射線科への連絡をお願いします。

核医学検査の必要性

検査の有益性(病気の診断、治療)が放射線被曝による不利益を上回ると判断されるための検査を行います。

医療被ばく低減に関する取り組み

防護の最適化を図るための数値(DRL)を指標に適時撮影条件の見直しを行っています。(DRLとは各医療機関から集められた標準体型の患者さん、もしくは標準ファントムに対する代表的な線量に基づき、その線量分布の75パーセント値のこと)

外来で検査を受けた場合の目安料金

RI検査料金

検査内容	検査のみの総額	1割	3割
骨シンチ	約60,000円	約6,000円	約18,000円
Gaシンチ	約65,000円	約6,500円	約19,500円
肺血流	約40,000円	約4,000円	約12,000円
心筋シンチ	約110,000円	約11,000円	約33,000円

※ 使用する薬剤や検査の追加などにより料金は変わりますのでご了承ください。